

シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」 **その58**

『石油プラント等で使用される複雑形状の鋳物製大型コンプレッサ部品等への表面処理による高品質化』

平成28年度補正

(対象類型) ものづくり技術

(事業類型) 一般型

(会社概要) 当社は昭和44年5月創業。県内外の金属部品製造業者、機械加工業者、半導体製造業者を対象に亜鉛めっき、無電解ニッケルめっき、アルマイトなどの金属表面処理をしています。取り扱いは亜鉛めっき：25%、無電解ニッケルめっき：50%、アルマイト：20%、その他：5%で、少量多品種生産の小回りの良さで、(株)日立製作所、島津製作所、安川電機、アイセル(株)等大手企業をはじめ約150社の取引を頂いております。

(事業概要) 複雑形状の部品等には、表面性状（巣穴）や製品形状を考慮した前処理・めっき工程が求められます。そこで前処理で振動子の配置を工夫した超音波洗浄と電解洗浄を行った後、無電解ニッケルめっきを施工し熱処理による高硬度のめっき皮膜を施すこととし、高機能な超音波洗浄機・高速電流反転整流器・熱処理炉（ベーキング炉）を導入いたしました。これらの

鋳物製品は製造工程でその表面に多くの巣穴と呼ばれる凹部が形成され、密着の良いめっき皮膜を施すことが困難といわれています。耐食性・耐摩耗性が要求される複雑形状の製品へのめっき加工を可能とする革新的な開発を行うことにより、鋳物めっき市場のシェア拡大が見込めます。他にもものまねのできない技術により、全社をあげて環境負荷の低減に努め、邁進してまいります。



代表取締役
清見原 和則 氏

株式会社光洋金属防蝕

〒744-0011 下松市西豊井1387-10
TEL：0833-41-4233 FAX：0833-41-4269
URL：http://kouyoukinzoku.sakura.ne.jp/

取り組みにより、複雑形状の高品質なめっき加工が可能となり、鋳物における無電解ニッケルめっきの一部工程の自動化を確立いたしました。



大型熱処理炉